

雲仙復興だより

平成9年8月 発行：建設省九州地方建設局雲仙復興工事事務所

8月は「道路をまもる月間」です。

「道路をまもる月間」行事の一環として8月10日の「道の日」に島原市内で各種イベントを実施します。主な内容は次のとおりです。

- ① 道路愛称表彰式……島原市で募集した「道路愛称」受賞者を表彰します。
- ② 探検隊バスツアー……小学校6年生を対象に復興事業の現場を見学します。
- ③ 街頭キャンペーン……商店街アーケード2箇所で開催を実施します。
- ④ 空き缶拾い……道路を巡回しながら空き缶拾いを行います。

昨年の「道の日」探検隊バスツアーに参加された児童の感想文の中から一文を紹介します。



昨年の「道の日」探検隊バスツアー

探検隊バスツアーは島原市内の各小学校の6年生を対象に行います。今年も参加者には感想文を依頼しますので、また、この紙面で一文を紹介したいと思います。

道の日探検バスツアー

三会小 6年 大場 章夫(現三会中1年)

ぼくが道の日があると知ったのは、去年でした。兄がぼくに、パズルをくれました。それには、「八月は道路を守る月間」と書いてありました。その時初めてこのような日があるということがわかりました。

そして今年、「道の日探検バスツアー」に参加しました。大きな川の上に道路を作り、土石流が流れた時より安全に渡ることができることがわかりました。

次にスーパー砂防ダムの近くのところまで行きました。ここでは工事をしているユンボや40トントラックなどは、リモコンなどで、そう作して、より安全に作業をしているのだなと思いました。

これからは道もこれまで以上に大切に、ゴミなどをちらかさずに、もしゴミが落ちていたら拾うように心がけることが、ぼくたちにできる道への親切だと思いました。



昨年の街頭キャンペーン

道路をまもる月間 (8月1日～8月31日)

“道路にも四季を感じるあたたかさ。道の日”キャンペーン・キャラクターの“こっちどヨウ平”は、ハンミョウ(別名ミチシルベ)です。道などを歩いていると、目の前を飛んでいく虫(体長約20ミリ)に出会います。しばらく歩いて追いつくと、また飛び立って先へ行き、私たちを道案内します。(昭和61年8月10日決定)

「道の日」キャンペーンキャラクター



8月10日は「道の日」

本年度は「道の日」制定10周年を契機に、新シンボルマークを制定しました。新マークは、道路と人を図案化したものであり、道によってもたらされる人と人との出会い、ふれあい、道の大切さなどをイメージしています。

うんせん ふげんだけ しりょうかん とうかんしゃ まんにん たっせい
雲仙普賢岳資料館への入館者10万人を達成!

雲仙普賢岳資料館は、地域住民をはじめ島原地域を訪れた皆様にも、雲仙普賢岳の噴火活動の状況や火砕流・土石流の災害の記録をビデオや写真を利用して紹介しているほか、砂防事業・道路事業などの防災事業の状況をお知らせすることを目的に開設しています。

資料館への入館者は盛況で開館(H6.4.27)以来、3年を経た今年6月30日に入館者が10万人に達成しました。10万人目の入館者には、福岡県糸島郡志摩町にお住まいの主婦柴田マキヨさんでした。柴田さんは、島原にはJR九州の「周船寺駅雲仙島原の旅」の企画で初めて島原を訪れ、資料館を見学するにあたり「雲仙普賢岳の噴火災害のすさまじさ」や「島原地域の復興の大変さ」を実感したとのこと。今後も、災害の記録や地域の復興に向けての取り組みなど最新の情報を皆様にご紹介していくよう雲仙普賢岳資料館のより一層の充実を図っていきます。地域の皆様をはじめ、島原を訪れる人達の気軽なお立ち寄りをお待ちしています。



雲仙普賢岳資料館入館者10万人達成セレモニー(H9.6.30)

ことし つゆきかん どせきりゅうなど はっせいじょうきょう
今年の梅雨期間の土石流等の発生状況

今年の梅雨入りは、6月7日と平年より1日早く、また、梅雨明けは、7月20日と平年より2日遅くなっています。この梅雨の期間の降水量は、雲仙岳測候所で1400mmを超え、平年値の約1.5倍の大雨となりました。

雲仙復興工事事務所では、土石流の発生にそなえ導流堤や砂防ダムなどの砂防設備の工事を鋭意促進しているところです。また、梅雨入り前までに、水無川で92万 m^3 、中尾川で51万 m^3 の遊砂地等の堆砂容量を確保してきたところ。

梅雨期間の降雨による土石流等の発生状況は、次表に示すとおりであり水無川1号砂防ダムまで流下した土石流は幸いにもありませんでした。しかし、泥流が水無川で3回発生しています。発生した泥流は、水無川1号砂防ダム及び導流堤内に設けた遊砂地に堆積しており、民家等の一般への被害は発生していません。また、中尾川では、降雨によって流出した土砂は4号砂防ダムで捕捉しています。

今年の梅雨期間における降雨量は多かったものの、短期間に集中した大雨が降らなかったため土石流の発生に至らなかったものと思われ。

しかし、山体には約2億 m^3 の土砂が堆積しており、降雨次第では土石流の発生の危険はいままなお続いています。

雲仙復興工事事務所では、今回発生して溜った土砂は台風期に備えて除石を行うこととしています。

土石流等の発生状況 (m^3)

発 生 日 時	流 出 量	
7月9日 3:50	17,000	
7月10日	2:00	15,000
	10:00	15,000



導流堤内を流れ下る泥流(H9.7.10)

ご意見をおよせください。
建設省九州地方建設局雲仙復興工事事務所

〒855 長崎県島原市南下川尻町7番地4

TEL 0957-64-4171 (代表)

FAX 0957-63-0914

(ご意見は調査課までお願いします。)

